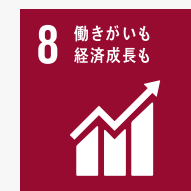


はじめよう、連携

～SDGsから見たパートナー選び～



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です





特定非営利活動法人 ホープ・インターナショナル開発機構

■はじめに

国際協力に携わるNGOは、貧困や飢餓をなくし、環境や平和など、持続可能な世界をめざして活動しています。しかし現実の世界はますます経済発展を追い求め、気候変動による大災害、資源の争奪などによる紛争、人権問題など、問題は深刻化していくばかりです。

地球にはもう猶予はなく、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)をキーワードにして、各国政府や国内外の企業、NGO等が連携して問題解決に取り組もうとしています。そのような動きに対して、NGOの活動をより知ってもらいたいと、その一助にこの冊子を作りました。ぜひ、NGOとの連携のツールとしてご利用ください。

CONTENTS

はじめに	02
SDGsとは?	03
企業とNGO連携 ビフォーアフター	04
企業×NGO 連携事例	06
業界別連携のアイデア	10
対談	12
連携を望んでいるNGOの紹介	14
もっと情報が欲しい方へ	24



特定非営利活動法人 イカオ・アコ

■ SDGsとは？

SDGs : Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標

2015年9月、国連・持続可能な開発サミットで、全ての国連加盟国193カ国の全会一致で採択された「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」に含まれる、2016年から2030年までの国際目標です。

5つのPを基本理念として、**17のゴール・169のターゲット・230の指標**があります。

SDGsは共通言語

- 社会・経済・環境の統合的なゴール
- 途上国・新興国・先進国
全ての国々の取り組み
- 政府・企業・市民・NGOの連携
- 誰一人取り残さない
"Leave no one behind"

5つのP			17のゴール						
People 人間	貧困をなくす	1～6							
Prosperity 繁栄	続く経済を	7～11							
Planet 地球	環境を守る	12～15							
Peace 平和	透明性・説明責任・民主的な行政を	16～17							
Partnership 協働	資金と協力	17							

■ 企業とNGO連携 ビフォーアフター

SDGsをきっかけにして企業とNGOが連携すれば何かが変わります!

連携するとどうなる? 企業では・・・

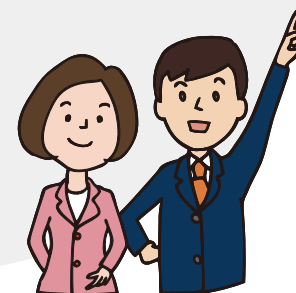
BEFORE

- 仕事に追われている社員。
- NGOってどんな人がやっているんだろう。
- 社会貢献はしているけど伝わってないよね。



AFTER

- 会社の外に視野が広がる!
- NGOって面白い人が多いね。
- 思いが伝わって企業イメージがアップ!!



連携のポイント

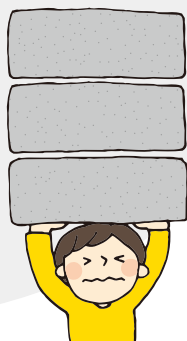
企業の強みは、本業で培った専門性、オリジナリティ、経験があり、活動に必要な資金、物資、場所を柔軟に提供できることです。

NGOと連携する際には、社内の方針をしっかり把握し、何を達成したいのかを明確にしましょう。またNGOは団体ごとに様々な方針や活動内容があります。連携相手の個性を把握しておくことが大切です。

連携するとどうなる？ NGOでは・・・

BEFORE

- 頑張っているけど活動範囲が狭い。
- 会費や寄付が不足して活動が続かない。
- 必要性が外部に理解されない。



AFTER

- 支援が届かなかったところに届くようになる！
- 組織基盤がしっかりしてスタッフが定着する。
- しっかりと広報できて外部に伝わる！！



連携のポイント

NGOの強みは、途上国での活動経験を生かし、地球規模の課題に対応することです。その団体の特性を生かしたオリジナリティのある支援により、広報戦略の一環である企業イメージの向上に役立ちます。

企業と連携する際には、企業の意向にどこまで応じることができるかを考慮することが大切です。また費用対効果などをわかりやすく説明するようにしましょう。

(参考「NGOと企業の連携推進ハンドブック」外務省 2009年)

■ 企業×NGO 連携事例

企業とNGOの連携にはどのような方法があるのでしょうか？

連携には様々な方法がありますが、今回はその中で代表的な4つの連携方法を実際の事例とともに紹介します。

スポンサーシップ

寄付(カネ、ヒト、モノ)や助成金プログラムにより、NGOの活動を支える

粘着テープの巻心を再利用し、 フィリピンのマングローブを育てる

「ニチバン巻心ECOプロジェクト」は、粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用するエコ活動です。集まった巻心は古紙回収業者に買い取ってもらい段ボールとして再生。さらにその利益と、巻心の個数に応じたニチバンからの支援金を環境NGO「イカオ・アコ」に寄付してマングローブの植林・メンテナンスに役立てます。

フィリピンでの植林活動



ニチバン株式会社

独自の粘着・接着技術をベースに、人々の健康や、快適な暮らし、ビジネスシーン、そして産業の発展に貢献する多彩な価値ある製品づくりを行っています。

NGOとの連携を始めたきっかけを教えてください。

粘着テープを作るときは、必ず巻心を使います。ニチバンでは1年間でセロハンテープだけでも1億個以上の巻心を使用しています。この巻心をリサイクルし、さらに環境問題の解決にも貢献したいとの思いで、連携が始まりました。



かたぎり まさと
片桐 真人さん
ニチバン(株) 執行役員
経営企画本部長(兼)
広報宣伝室長

連携するうえで苦労した点を教えてください。

巻心を集めて下さっている小学校の生徒さんたちにマングローブ植林を体験してもらいたいのですが、フィリピンということで直接的に体験できる機会がないことを残念に思っています。イカオ・アコさんをお願いして現地の生育状況の画像を頂いて会社ホームページで公開しています。



特定非営利活動法人イカオ・アコ

フィリピン・ネグロス島でマングローブ林や熱帯高地林の植林事業を行っている環境NGO。1997年に活動を開始し、これまでに約150万本の植林を行っています。

企業と連携してよかった点はどのようなところですか。

巻心ECOプロジェクトとしては、これまでに15万本強の植林を行いました。およそ20年間の活動実績で累計150万本ですから、そのうちの約10%強がニチバンとの協働によるものとなります。テープを使用する日本の消費者にも参加していただけるので、活動を広く伝えられるのがいいですね。



ごとう よりひさ
後藤 順久さん
(特活)イカオ・アコ
理事長

連携するうえで苦労した点を教えてください。

広告代理店を通じて知り合ったため、最初は意思疎通が難しかったことが苦労した点です。途中から直接やり取りをさせて頂いたので、スムーズにコミュニケーションを取れるようになりました。

複合商業施設内のスペースを活用し、地域の課題を解決する

大和リース株式会社と認定NPO法人ムラのミライが協働で設立したNPO法人まちづくりスポット（以下「まちスポ」）。地域の課題解決、コミュニティの活性化やにぎわいの創出に貢献しています。

まちづくりスポットを中心にイベントを開催



大和リース株式会社

大和ハウスグループの中核企業として、建築、土地活用や商業施設の開発・運営、都市緑化、福祉や農業、ロボットの分野まで多岐にわたる事業を行っています。全国150カ所以上で展開する複合商業施設においては、地域・社会貢献に繋がる様々な活動を実施しています。

NGOとの連携を始めたきっかけを教えてください。

岐阜県高山市に持つ商業施設に確保したコミュニティスペースを活用していただけるNPOを探していました。その中で当時認定NPO法人ソムニード（現：ムラのミライ）の国内事業部長だった竹内さんと出会い、コミュニティを運営する団体の必要性を感じ、まちスポを設立しました。



もりうち じゅんいち
森内 潤一さん
大和リース（株）
取締役常務執行役員/
（特活）まちづくりスポット
共同代表理事

連携するうえで苦労した点を教えてください。

非営利活動を行うことに社内の理解を得るのが大変でした。NPOに関する社員向けの研修会を全国各地で開催しました。大和リースとの資本関係や契約関係は一切なく、設立したNPOを支援するために大和リースが寄付金を出すという関わり方を説明して歩きました。

連携してよかった点はどのようなところですか。

まちづくりを通して社会の見方が変わり、社員の教育・自信につながっています。また、新たなコンテンツを持つことで企業価値が上がります。行政に対し、公共用地の利活用案の1つとしてまちスポを提案できています。それが実績にもつながり多くの物件を開発する機会を得られています。

認定NPO法人まちづくりスポット

認定NPO法人ムラのミライと大和リース株式会社が協働で設立したNPO法人。あなたの「やりたい」「やってみたい」の実現をお手伝いする組織です。多様な人々が集い賑う交流拠点の運営や、異なる活動をしている方を繋げ、「コミュニティは人」を基本にして、まちづくりの面から地域活性化の応援をしています。

企業と連携してよかった点はどのようなところですか。

まちスポの来場者は、2017年10月に5万人を達成しました。また、まちスポの活動が進むにつれ、大和リースの社内報などに報告が載るようになってきました。協働事業を始める前は全くNPOを知らなかった人たちが地域づくりに関心を持ち、積極的に関わるようになったことも大きな成果です。



たけうち ゆみ子さん
竹内 ゆみ子さん
（特活）まちづくりスポット
共同代表理事

連携するうえで苦労した点を教えてください。

商業施設の中だけで活動していると、結局その販促活動をしているのではないかとわかってしまいます。できる限り近隣のまちづくり協議会や自治会など外部と関わりをもち、地元との連携を取っています。今では、市民フォーラムの開催など、高山市との協働が活発に行われるようになりました。



NGOの行うスタディツアーへの参加で社員の研修

株式会社中京医薬品の売上の一部を原資として、独自の国際貢献活動「きずなASSIST」を1994年より展開。NGOへの資金援助だけでなく、社員が現地に赴いて、＜人と直接＞触れ合うことに重点を置いています。「きずなASSIST」の取り組みの1つとして、毎年2人、AHIが行うスタディツアーに社員研修として送り出しています。渡航中の参加者全員の携行薬も寄付しています。



AHIのツアーで現地の子どもと交流

株式会社中京医薬品

救急箱（常備配置薬、保健品の一部、ドリンクの一部）を各家庭に配置して、使用分を販売する配置販売を行い、関連商品（保健品の一部など）は主として営業員が配置顧客に販売しています。

NGOとの連携を始めたきっかけを教えてください。

お客さまとふれあいながら、健康づくりのお手伝いを通して幸福な暮らしを共に実現していこうという企業理念から、「きずなASSIST」という国際貢献活動を行っています。AHIの活動が当社の理念と合致しているというのが連携している大きな理由です。

社員が現地に赴き、子どもたちとふれあいながら活動を行っているので学びも多く、長く活動を続けています。



とみた こうへい
富田 高平さん
(株)中京医薬品
総務部 部長

本業へのメリットはありますか。

元来置き薬業は地域社会に深く根をおろし、生命や健康生活に密着しているが故に企業活動自体が高い社会貢献性を持っています。

社会貢献活動に参加することで「人のお役に立つ」事の大切さを再認識させてもらっています。

公益財団法人アジア保健研修所 (AHI)

アジア各地の村々で人びとの健康を守るために、金や物を送るのではなく、現地で働く人材を育成することで、人びとの自立を促しています。

連携したきっかけを教えてください。

中京医薬品さんからお声掛けいただきました。当初から「寄付以上」の関係を考えておられたので、スタディツアーへの参加を提案しました。

特に社員の方たちが関わるものとお考えだったと思います。社員さんは、顧客を訪ね、健康づくりを手伝う立場です。そういうお仕事において、アジアの農村部での体験は、健康のいわば原点を考える機会となるのではと考えました。



はやし かぐみさん
林 かぐみさん
(公財)アジア保健研修所
事務局長

企業と連携してよかった点はどのようなところですか。

普段私たちがあまり接点を持ってない現役の会社員の方とつながりを作ることができ、またツアーの他の参加者（学生やシニア世代が主）にも良い刺激になっています。更に、営業職の方であればお客様のところで話題にさせていただく可能性もあり、社員の方個人の経験にとどまらず、社内・社外で様々な広がり生まれることを願っています。

福島・南相馬産のナタネ油でつくる 手作りソープの製造と販売

チェルノブイリ救援・中部は、福島原発事故被災地の有機農業生産者等と一般社団法人南相馬農地再生協議会を設立し、『菜の花プロジェクト』により放射能を含まない安全なナタネ油を生産しています。ラッシュジャパンは、その油を原料に使用した手作りソープ「つながるオmoi」を商品開発し、ともに被災地の復興・農業再生をめざしています。



2018「菜の花 花見会」集合写真

株式会社ラッシュジャパン (LUSH JAPAN)

英国生まれのコスメブランドで、原材料は可能な限り地産地消にこだわり、人・動物・環境が持続可能に共存できることをめざして化粧品を製造・販売し、エシカル（倫理的）にビジネスを行っています。

NGOとの連携を始めたきっかけを教えてください。

東日本大震災発生以来、福島県内の多くの農家は津波による塩害や、福島原発の事故による風評被害が原因で、農作物の生産や販売が伸び悩んでいることから、代替のエネルギー作物として栽培されているナタネ油の購入で貢献したい、と連携を始めました。



ほそ たかし
細野 隆さん
(株)ラッシュジャパン
バイイング チーム
スーパーバイザー

どのように連携を始めたのでしょうか。

出会いは、チェルノブイリ救援・中部への助成金による支援でした。その後ラッシュの社員が『菜の花プロジェクト』の「種まき会」や「花見会」等のイベントに参加することを通して、地域再生に向けて人的なつながりができ、事業の連携が始まりました。



特定非営利活動法人チェルノブイリ救援・中部

ウクライナ・チェルノブイリ原発事故及び福島原発事故で被災した人々の支援を行い、被災者・地の復興をめざして活動しています。ウクライナで実証されたとおり、南相馬市の『菜の花プロジェクト』でも放射能はナタネ油には移行しません。

企業と連携してよかった点はどのようなところですか。

ナタネ栽培の農地が拡大して収穫したナタネの収量が増え、製造したナタネ油を販売できないと『菜の花プロジェクト』は成立しないので、定期的な販売ルートがあることは大切です。

また、手作りソープ「つながるオmoi」やラッシュ販売店でのチャリティパーティをきっかけに、これまでの支援者とは違った層の市民に福島の現状を訴え、支援活動への参加を広げる絶好の機会となっています。



こん ひでき
神野 英樹さん
(特活)チェルノブイリ
救援・中部 理事

異なる組織形態や文化を持つ企業とNGOでも、
業界別連携の

食品・農林水産業界



食品メーカー
×
女性の自立を支援するNGO
子どもたちの健康基盤を築く

栄養補助食品の現地製造を通じ、現地女性の自立支援プログラムを実施しているNGOと連携。村で現地女性が製品を販売。

広告業界



広告代理店
×
中間支援組織のNGO
広報活動

広告業界のポスター展にNGOから題材を募集し、多様な社会活動の課題を広く伝えるため、クリエイターがポスターを作成。

建設・不動産業界



設備メーカー
×
まちづくり・環境保全活動を行うNGO
水質改善

NGOが地域に適した排水処理技術を調査する過程で、技術を企業と協働で開発、製造販売。

金融業界



保険会社
×
農村開発・環境保全活動を行うNGO
持続可能な環境

地球や人々の生活に様々な恵みをもたらすマングローブを「地球の未来にかける保険」と位置づけ、植林活動を現地NGOとともに行う。

IT・通信業界



通信会社
×
紛争や災害時の緊急人道支援のNGO
災害時の復興支援

海外の通信サービスに対応した商品を活かし、現地で活動するNGOに無償貸し出し。

流通業界



物流会社
×
貧困をなくすための活動を行うNGO
広報活動と福利厚生

社内にNGOが扱っているフェアトレード商品の販売スペースを設置。NGOから講師を招き、社員向けに、貧困や気候変動などについてのワークショップも実施。



共通のテーマや連携の仕方はこんなにあります！

アイデア

生活用品業界



製薬会社
×
子どもたちの未来を救うNGO

母子の健康を守る

NGOが実施する母子健康プロジェクトにビタミン剤の売り上げを寄付し、サポート。現地保健省と連携し、健康教育も行う。

自動車業界



自動車部品会社
×
日本語教育を行うNGO

コミュニケーションの向上

外国人労働者が多い部署に、NGOの講師を派遣。

レジャー・エンタメ業界



スポーツクラブ
×
母子家庭への食料支援を行うNGO

地域活性化

地域に密着したスポーツクラブで缶詰などの保存食品を回収し、必要とする施設や団体へお届け。

電機・精密機器業界



時計メーカー
×
女の子の未来を支援するNGO

少女・女性への支援

女の子たちが「生きていく力」を身につけることを支援するNGOのプロジェクトに賛同して、女性ブランドの売り上げの一部を寄付。

外食関連業界



カフェ、バー
×
貧困撲滅・水問題に取り組むNGO

スペースの有効利用

カフェ、バーのスペースをNGOが主催する講座の場に提供。食事をしながら講座を気軽に聞けて、店の宣伝やイメージアップにもつながる。

素材業界



繊維会社
×
世界の子どもの児童労働から守るNGO

互いがノウハウを提供

企業が使用するオーガニックコットンの生産現場でNGOがCSRの評価を実施、CSR調達の実施体制づくりをサポート。

■ 対談 社会課題を理解し、SDGsを経営戦略の柱に取り入れる

中部地域の企業によるSDGsの取り組みをリードする住友理工株式会社の戸成司朗さんに、名古屋NGOセンターの戸村京子がお話を伺いました。



と な り し ろ う
戸成 司朗氏 住友理工株式会社 CSR アドバイザー
(特活) 中部プロボノセンター 共同代表理事

35年間大手スーパーの(株)西友に勤務、2007年執行役上席副社長を最後に退任。その間に日本チェーンストア協会の初代社会貢献委員長を務める。日進市に戻り、第二の人生を社会に貢献したく、同年住友理工(株)に入社。社会貢献推進室を設立し、室長に就任。NPOとの協働による社会課題解決型のプログラムをスタートさせている。



と む ら き ょ う こ
戸村 京子 認定NPO法人名古屋NGOセンター 常務理事・事務局長
(特活) チェルノブイリ救援・中部 理事

チェルノブイリ原発事故から現在までウクライナの被災者を支援、東日本大震災以降は福島県の被災者・避難者を支え続ける。2007年より名古屋NGOセンター理事、2011年より事務局長。2017年にJICAの「英国NGO連携調査団」としてNGOの視察に参加し、英国のNGOと企業の連携に触発され、中部地域での連携の促進を図る。

SDGsによるリスクと機会

戸村 NGOは活動の目的がSDGsの17のゴールと重なる部分が多いのですが、企業はなぜSDGsに取り組むのでしょうか？

戸成 企業がSDGsに取り組む理由としてリスクと機会の2つが考えられます。SDGsの目標達成を大義として各国が政策立案や法制化に動く方向にあり、政府の優先事項となっています。SDGsに取り組んでいる企業は、新たな政府の政策と自社の戦略が一致します。また、SDGsが示す17の目標は社会課題であり、社会のニーズと言えます。社会の期待に応えソリューションを提案することで成長可能性の高いビジネスが展開できるのです。

戸村 SDGsとCSRの関係はどう整理すれば良いと考えますか？

戸成 Responsibility=責任・義務と考え、それをしてなければ罰則を受けるという後ろ向きの印象を受けます。しかし、Responsibility=社会の期待と考え

ると、CSRはより前向きな印象に代わってきます。CSRというのは企業が社会の期待に応えるための能力を高めることであり、これはSDGsの考え方と同じと言えます。SDGsにおけるリスクと機会を念頭に置きながら、積極的にSDGsを経営戦略の柱に取り入れ、外部にその姿勢を示していくことが求められています。

ガイドライン「SDG Compass」(P24参照)

戸村 企業は具体的にどう行動に起こしていけばいいのでしょうか？

戸成 その指針を示しているのが「SDG Compass」というガイドラインです。ガイドラインでは、SDGsを十分理解すること、優先課題を決定すること、目標を設定すること、経営に統合すること、報告することの5つの取り組みを示しています。

まずは、SDGsを十分理解することが大切です。社会課題を理解することはビジネスチャンスにつながります。マーケティング的に言うとneeds・wantsをソ

リューションする。そして、needs・wantsを意図的に仕掛けるのです。needs・wantsだけを追いかけているとイノベーションは起きません。市場調査から出てくる答えを製品化することは、リノベーションに当たります。将来のビジネスチャンスは、イノベーションから生み出されますから、SDGsを通してそれを見極めていく必要があります。

そして、バリューチェーン全体を通して、SDGsに関する現在及び将来の正と負の影響を評価し、優先的に取り組む課題を決定していきます。サプライチェーンは、原材料を仕入れ、製品を生産し消費者に渡す前までの流れを示します。一方、ガイドラインでのバリューチェーンは、渡した後に消費者がどうするかまでのトータルな流れを示した考え方です。サプライは供給、バリューは価値であり、全ての商品は消費者に使われて初めて価値を得るという意味です。産業革命以降の20世紀は、供給する側(サプライ)の論理で成り立っていましたが、21世紀になり、消費者の価値観に沿った論理へと変化していきました。

目標設定とステークホルダー

戸成 世界の企業は、バリューチェーンにおける自社の活動に対して、17の目標のどこに関わっているかのマッピングを始めています。それを169の項目に落とし込み、より細分化し影響領域を特定していきます。次に、目標範囲を決めKPI(Key Performance Indicator)を選びます。KPIとは、何かの物事の目標を数値で表すということ。ベースラインの設定または目標タイプの設定のいずれかを選びます。ベースラインは、特定の時点と期間を比較させ、どうしていくのかを定める方法。目標タイプは、いつからいつまでという時間の経過を定め、その時間の中で絶対目標、相対目標を立てるものです。

戸村 NGOも自分たちの取り組みがSDGsのどのゴールに当てはまるのか改めて関連付けています。目標設定はどう考えたらよいでしょうか。

戸成 目標設定のキーワードは、アウトサイド・インです。2030年に世界がこうなっていきたいという姿が、SDGsによって示されています。その示された2030年をイメージし、その時の社会ニーズを想像します。今ある自社の現状で考えていてはダメなのです。2030年の社会が何を求めているのか、自社以外の人たち、特に市民が何を期待しているのかで目標を考える必要があります。

戸村 ステークホルダーとの関係はどうでしょうか。

戸成 最近の大きな動きとして「ESG投資」があげられ

ます。投資家はこれまで、企業の財務状況や財務指標をもとに投資判断をしてきました。しかし、昨今はそれらに加えて、環境(Environment)、社会(Social)、統治(Governance)に配慮している企業を選んで投資する流れになってきています。ESGに注目する中で最もリスクがあるのは、人権・労働環境・サプライチェーンで、SDGsに関連のある項目です。企業は投資家によってチェックされていると言えるでしょう。

SDGsの開発目標を横断的に捉える

戸村 SDGsの17の目標と169の項目は、決して独立しておらず、それぞれが絡み合っています。住友理工ではどう関連付けていますか？

戸成 弊社は天然ゴムを使用しており、タイのプランテーションで定期的に調査活動を行っています。その調査結果とSDGsを照らし合わせると、天然ゴムの調達にあたり「15. 陸の豊かさを守ろう」、ゴム農園での児童労働も考えられるため「4. 質の高い教育をみんなに」、プランテーションで働く人に適切な賃金を支払い「1. 貧困をなくそう」と「3. すべての人に健康と福祉を」が当てはまるという結論に至りました。弊社では、このように様々な目標をまたぎながら、SDGsとの関係性を考えていこうとしています。

社会課題の解決能力を持つNGO

戸村 プランテーションでの労働問題はNGOがずっと関心を持ってきた分野の1つでもあります。NGOとの連携をどう考えますか？

戸成 住友理工では、児童労働や環境への配慮を考え、世界的な人権NGOであるアムネスティやWWF(世界自然保護基金)とつながりを持っています。企業がSDGsと向き合うにあたり、NGOは良き忠告者であり、良き協力者でもあると考えています。

戸村 企業がNGOに求めている能力は何でしょう？

戸成 社会課題の情報収集能力、発信能力、ネットワーク、そして最も大事な社会課題の解決能力の4つです。企業側は、NGOへの寄付や協働を社会への投資と考えており、私はこれを社会的投資と言っています。社会的投資である以上、リターンがなければいけません。それは社会的価値の増大と、企業価値の向上です。社会的価値の増大とは、取り組んだ社会課題が、改善・解決すること。結果がなければ、全くの自己満足になってしまいます。

社会にどのような変化があったか、実際にその社会の受益者がどのような影響や変化を受けたのかそれを大事にしたいですね。そのような社会課題の解決能力をNGOには期待しています。事業活動の重要なステークホルダーとして、NGOの役割は大きく、企業にはないノウハウやスキル、ネットワークを与えてくれることを期待しています。

■ 連携を望んでいるNGOの紹介

お互いの強みを活かし、課題解決へ。

連携の手順

連携の方法や関わり方の度合いは様々ですが、企業、NGOそれぞれが納得のいく議論を経て進めていくことが重要です。
さあ、わたしたちといっしょに取り組んでみませんか？

STEP
1

連携する目的の明確化

- ・NGO・企業のお互いの特性を理解し、連携する目的を明確にします。

STEP
2

連携相手を探す

- ・ネットワークを広げて情報収集
- ・理念、方針を共有できるか、専門性、信頼性はあるかお互いに精査しましょう。

「企業とNGOの連携促進シンポジウム」や「勉強会」への参加もネットワークを広げる1つの方法です！
(P24参照)

連携を望んでいる中部地域のNGOは、こんなにあります!!



STEP
3

目標の設定

- ・対象地域のニーズを把握し、具体的な目標を立てましょう。

STEP
4

スケジュールを立てる

- ・期間、評価の仕方、役割分担、スケジュールなどを具体化し、書面での確認を取り交わします。

STEP
5

振り返り

- ・評価、報告、改善することが重要です。
- ・評価をお互いに共有し、次の計画に反映させることも目標達成に有効な手段になります。



ハンガーゼロ (一般財団法人 日本国際飢餓対策機構)

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F (愛知事務所)

TEL:052-265-7101 E-mail: aichi@jifh.org

URL: <http://www.hungerzero.jp>

わたしたちが していること できること



ハンガーゼロが活動するコンゴの子どもたち

- ・ゴールは世界から心と体の「2つの飢餓」をなくすこと
- ・モットーは「わたしから始める、世界が変わる」
- ・世界の約20カ国で50以上の団体と協力して活動中
- ・1人の子を毎月支援「チャイルドサポーター」募集
- ・飢餓をなくす募金「ハンガーゼロサポーター」募集
- ・企業と協力して「ハンガーゼロパートナーズ」募集
- ・国内約30カ所開催「世界食料デー大会」スポンサー募集
- ・緊急災害にも対応「ハンガーゼロ自動販売機」ご検討

BEFORE

企業

- ・海外に関わるCSRで企業イメージを上げ、自社ホームページでCSRをアピールしたい。
- ・社員に海外へ目を開いてもらえるような啓発活動がしたい。
- ・国内外の災害緊急支援に自社製品が募金で何か貢献したい。

NGO

- ・企業が持つプロフェッショナルでスピーディな組織運営が学びたい。
- ・ファンドレイジングについてアドバイスが欲しい。
- ・海外や社会に貢献して働ける喜びを多くの企業家、社員と共有したい。
- ・国内外で飢餓撲滅のために働く専門的な知識や最新技術が足りない。

AFTER

企業

- ・企業名でチャイルドサポーターとなり、会社案内や企業説明会で、社会貢献をアピール。
- ・会社内で啓発セミナー開催や世界食料デー大会に社員が参加し発表。
- ・支援可能な製品や技術を登録することで緊急時即対応で広報力増加。

NGO

- ・組織運営の指導をしていただける。
- ・アドバイザーやスポンサーとなる企業・団体・大学などを紹介していただける。
- ・よりダイナミックで大規模な支援活動が可能。
- ・最先端技術を持つ企業との協力でNGOとしての社会的信頼度が増す。

アピールポイント

ハンガーゼロ、世界の飢餓をなくすため「わたしから始める、世界が変わる」



公益財団法人 アジア保健研修所 (AHI)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-30
TEL:0561-73-1950 E-mail: info@ahi-japan.jp
URL: http://www.ahi-japan.jp

わたしたちが していること できること



研修ではグループワークが中心

アジアの草の根の人びとの健康をめざし、人づくりを行っています。

- ・アジア各国の保健・開発ワーカーへの研修
年に一度、日進市の研修所に地域保健や生活改善の活動をする現地のNGOスタッフを招き、リーダーシップ育成研修を行っています。
- ・日本国内でのアジア理解推進
印刷物の発行、イベントの開催、スタディツアーの実施などを通じて、アジア各地の人びとの暮らしや元研修生の働きを伝えています。

BEFORE

企業

- ・途上国の健康問題、生活改善に寄与したい。
- ・社員にアジア諸国の状況を理解したり、異文化体験の機会を提供したい。
- ・社員にボランティア活動の場を提供したい。人間力を高める機会を提供したい。

NGO

- ・より多くの人たちにアジアの草の根の状況を知ってほしい。
- ・より多くの支援者を得たい。
- ・NGOとは違った視点を得て、活動を向上させたい。

AFTER

企業

- ・研修生の所属団体への支援を通して、アジアの人びとの健康に寄与できる。
- ・社員がアジアの農村部を訪問し、現地NGOの活動を知ることができる。
- ・社員が普段できない経験をして、視野を広げたり、コミュニケーション力を向上。

NGO

- ・接点を持つことがしにくい現役世代の人たちの関わりが得られる。
- ・活動の中にその人たちのリーダーシップが発揮され、他のボランティアにとっての刺激になったり、よい交流が生まれる。

アピールポイント

「人づくり」は、多くの企業の方たちとの共通の関心事だと思います。
多様なつながり方をぜひ考えていきたいです。



外国人ヘルプライン東海

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F
TEL:090-3968-5971 E-mail: fhelpline.info@gmail.com
URL: https://www.facebook.com/helpline.tokai/

わたしたちが していること できること



ボランティア紹介イベントに参加

毎月1回第3土曜日の午後2時から相談会を開催／
相談機関への同行通訳を派遣

- ・困りごとの相談など通じて、地域の社会資源につなげます。
- ・在留資格がないなど、既存の制度では排除される人々の支援をめざします。
- ・研究会などを通じて問題を発信し、各団体のネットワークを通じて地域に提案していきます。

BEFORE

企業

- ・外国人の労務問題をどう解決したらいいかわからない。
- ・外国人雇用について通訳が必要になった。
- ・外国人雇用者の子どもの学校についてどうしたらいいかわからない。

NGO

- ・外国人は本当は言葉がよくわからなくて困っているはず。
- ・通訳の必要性をアピールしたい。
- ・もっともっと、相談会を活用してほしい。

AFTER

企業

- ・外国人の困りごとは「外国人ヘルプライン東海」に相談できる。
- ・通訳を派遣してもらえる。
- ・外国人の家族の困りごと相談にも対応してもらえる。

NGO

- ・相談会の時に相談者が訪れ、通訳者のやりがいアップ。
- ・企業内研修などを提案することで、運営の幅が広がる。

アピールポイント

日本で働く外国人の困りごとなんでも相談して下さい。通訳も派遣します。



特定非営利活動法人 セーブ・イラクチルドレン・名古屋

〒461-0011 愛知県名古屋市東区白壁1-60 野間ビル内 小野万里子法律事務所

TEL:052-957-3555 E-mail: info@iraq-c.gr.jp

URL: http://www.iraq-c.gr.jp/

わたしたちが していること できること



日本で習得した外科手術にて回復に向かう子ども

イラク戦争以降に急増する小児がん等の疾病に冒された子どもたちを救うため、及び長い経済封鎖やIS侵略等により医療活動が困難に見舞われたイラク人医師に実践的かつ高度医療を修得してもらうため、日本での研修機会を提供しています。講演会や大学授業等にて国際理解を深める活動も行っています。今後は女性医師やコメディカルスタッフの研修機会の創出、医療物資の支援など、さらなる医療環境の向上・課題解決をめざしています。

BEFORE

企業

- ・戦禍に巻き込まれた子どもの命を守る活動をしたい。
- ・実践的かつ即効性あるジェンダー支援を行いたい。

NGO

- ・戦争・紛争により機能不全に陥った病院の再建や不足する医薬品を届けたい。
- ・女性医師などにも研修機会を創出したいが、短期滞在者を支援する予算捻出が難しい。

AFTER

企業

- ・パートナーシップにより、命を守るグローバル活動に参画できる。
- ・イラクにおける教育・医療・福祉などの人権課題に対し、平和的解決に寄与できる。

NGO

- ・医療器具や医薬品の提供、病院再建の支援、子どもの命の救済が実行できる。
- ・技術向上の学習機会が希少なイラクの女性医師などに対し、訪日及び研修機会を提供できる。

アピールポイント

日本に居ながら、イラクの医療・教育・ジェンダーなど多様な人権問題解決に即効的かつ実効可能な活動です。



特定非営利活動法人 キャンヘルプタイランド

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-11-43 日商ビル2階NPOステーション内

TEL:052-566-5131 E-mail: office@canhelp.jp

URL: http://canhelp.jp

わたしたちが していること できること



タイやカンボジアの子ども達に笑顔を届ける

東南アジア(タイ・カンボジア)の貧困地域の子どものために奨学金支援、学校教室・トイレ・図書館・食堂の建設支援、給食支援、図書支援、タイ北部山岳少数民族の子ども達のための学生寮支援などを行っています。

BEFORE

企業

- ・社会貢献活動をしたいが、ゼロから始めるには時間も人的労力も多く掛かり大変。
- 事例: 学生にボランティア活動を経験させたい(大学)

NGO

- ・個人からの寄付金に頼ってNGO活動を継続するには限界がある。
- 事例: ボランティアの不足。寄付金の減少

AFTER

企業

- ・NGOの経験とノウハウを利用し、短時間で効果的な社会貢献活動を実現。
- 事例: NGOと連携し海外学生ボランティアツアーを企画(大学主催)

NGO

- ・連携により安定した活動予算の確保が可能。活動ノウハウを連携企業に提供可能。
- 事例: 学生ボランティアを現地へ派遣。活動資金の獲得

アピールポイント

タイの貧困地域で20年以上の活動実績 2015年カンボジア支援開始 現地の教育委員会や提携団体との強固なネットワークを活用。



特定非営利活動法人 日本ボリビア人協会

〒514-0027 三重県津市大門7-15 津センターパレス3階
TEL:090-7916-6410 E-mail: arbjyamada5@gmail.com
URL: http://arbj.strikingly.com/

わたしたちが していること できること



手編みアルパカニットビジネス支援

- ・在日ボリビア人に対する日常生活及び法的に必要な支援事業
- ・ボリビア文化の紹介及びプロモーション事業
- ・日本への定住支援
- ・国際交流
- ・翻訳・通訳事業

BEFORE

企業

- ・自社の縫製技術や商品開発のノウハウを提供することで社会に貢献したい。
- ・質の高い手編みのアルパカニットを販売したいが、安定した供給が得られない。

NGO

- ・在三重県ボリビア人の50歳以上の女性は職が無いに等しく(日本語の読み書きができない)、生活保護受給を避けるためにも早急な雇用機会の創出が必要である。

AFTER

企業

- ・在三重県ボリビア人女性にアルパカニットの縫製指導を行うことで、社員のモチベーションが上がり、CSR活動としてPRできる。
- ・質の高い手編みのアルパカニートを安定して販売することで、在三重県ボリビア人女性の生活基盤の安定に貢献できる。

NGO

- ・企業と協働してアルパカニットの商品開発・環境整備を行うことで、在三重県ボリビア人の雇用機会の創出ができる。

アピールポイント

ボリビア人による、ボリビア人と日本人のための暖かなアルパカニートを提供します。



バングラデシュ保育園の会(BNSA)

〒466-0004 愛知県名古屋市昭和区広瀬町2-6-7
TEL:052-741-5149 (伊藤悦子)
E-mail: odk04@yahoo.co.jp

わたしたちが していること できること



現地ダッカ保育園スタッフと子どもたち

バングラデシュの首都ダッカで貧困層の子どもたちの保育園を作り、支援を続けています。この5年ほど経済成長により中間層が増え、農村からダッカへ人口が流入し、スラムが拡大しています。

BEFORE

企業

- ・バングラデシュの経済や消費情報を知り、アジアやムスリムのことを理解したい。

NGO

- ・テロ以降の安全で発展したバングラデシュの現状を知らせる機会がほしい。ボランティア、インターン受入れをしたい。

AFTER

企業

- ・バングラデシュの情報を得て、商品試供ができる。社員がボランティア、インターンの体験ができる。

NGO

- ・バングラデシュの安全・発展を広く知らせる機会ができる。ボランティア、インターン受入れにより支援者が増やせる。

アピールポイント

現地保育園はダッカ中心部の商業地のビル内にあります。



特定非営利活動法人 ビルメロの会

〒501-0222 岐阜県瑞穂市別府1204
TEL:058-326-3455 E-mail: bndcs887@gmail.com
URL: bndcs887.wixsite.com/birumero-no-kai

わたしたちが していること できること



寺子屋で絵画指導をする画家の山下さん

ミャンマーの軍事政権時代の2000年から貧困と人権蹂躞に対して次の事業を継続してきました。

- ・就学困難児童を対象にした寺子屋
- ・無医村への巡回医療
- ・貧困学生への奨学金支給
- ・医薬品、古着などを配布する寄付
- ・寺子屋教師の日本招へい

現在は、現地人の協力により事務所を開設、また農地を無償貸与できることになりました。事業を継続しつつ‘尊厳と自立’をテーマに日緬合併事業を立ち上げようとしています。

BEFORE

企業

- ・ミャンマーは、最後のフロンティアとして多くの日本企業が進出したが、現地事情に詳しくない企業が様々なトラブルに巻き込まれている。

NGO

- ・本来ミャンマーは豊かな国なのだが、国連からは世界最貧国と認定されている。支援の形は、自立のための技術提供が必要と考えている。

AFTER

企業

- ・能力の高い人材の獲得、新たな製造拠点、販路拡大など18年間で培ってきた人脈を通じて多くのビジネスチャンスを提供することができる。

NGO

- ・企業の持つ技術力、資金力、販路開拓能力等により、当会がめざしている農業学校創設の実現に近づき、貧困層の児童に自立の機会を与えることができる。

アピールポイント

ミャンマーで互恵関係を築き、100年続く日緬の協働プロジェクトと一緒に立ち上げませんか。



認定NPO法人 ホープ・インターナショナル開発機構

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-16-2 神谷ビル2F
TEL:052-204-0530 E-mail: info@hope.or.jp
URL: https://hope.or.jp/

わたしたちが していること できること



ホープが作った井戸で手を洗う現地の子ども

「安全な水」の供給をベースに、世界の貧困層の人々が貧困から抜け出すための自立支援をしています。

海外での活動

- ・井戸や簡易水道の設置と衛生教育。
- ・学校建設や教育支援。
- ・マイクロクレジット事業を通じた経済支援

国内での活動

- ・チャリティーディナーなどのチャリティーイベントの企画・運営
- ・企業との協働事業。

BEFORE

企業

- ・CSR活動を検討中だが、何から始めたらいいかわからないし、十分な時間をかけられない。
- ・自社の商品・サービスを使って何かしたい。

NGO

- ・活動をより多くの人に知ってもらい、支援者を増やしたい。

AFTER

企業

- ・自社に合った方法を提案してもらい、めざすCSR活動が明確になった。
- ・自社商品・サービスによって社会貢献ができ、なおかつPRにもつながる。また、社員の社会貢献意識が向上する。

NGO

- ・持続的に活動ができることによって、より多くの人々を支援できる。
- ・ホープの認知度が上がり、より多くの人から取り組んでいる課題への理解を得られる。

アピールポイント

約40年にわたる自立支援の実績により、課題解決のノウハウがあります。国内では多種多様な人々や、企業とのつながりを大切に活動しています。



特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-11-33 ST・PLAZA・TSURUMAI本館5FB号室

TEL:052-228-6813 E-mail: chqchubu@muc.biglobe.ne.jp

URL: <http://www.chernobyl-chubu-jp.org>

わたしたちが していること できること



日本から贈られたクリスマスカードに喜ぶチェルノブイリの子供たち

ウクライナ・チェルノブイリ原発事故及び福島第一原発事故の被災者を支援する以下の活動を行っています。

- ・ウクライナの病院へ医療支援
- ・「放射能測定センター・南相馬」で農作物・土壌等の測定や汚染マップの作製
- ・「菜の花プロジェクト」による農業の再生
- ・手作りクリスマスカードを贈る心の交流
- ・原子力災害への理解を深めるためのセミナー等の開催

BEFORE

企業

- ・環境汚染を食い止めるために何かしたい。
- ・放射能被災者のために社員にできることを探したい。
- ・原子力災害について講師を派遣してほしい。

NGO

- ・「菜の花プロジェクト」のサポーターを増やしたい。
- ・原発事故を風化させたくない。

AFTER

企業

- ・「菜の花プロジェクト」のサポーターとして農業再生に貢献できる。
- ・社員が「クリスマスカードキャンペーン」に参加し、被災者との心の交流ができる。
- ・研修で社員の意識が向上する。

NGO

- ・「菜の花プロジェクト」を今後も継続して実施できる。
- ・被災者への理解を深め、孤立を防ぐことができる。

アピールポイント

1990年からウクライナの被災者支援を継続して、その経験の蓄積を福島の支援に活かしています。



特定非営利活動法人 泉京・垂井

〒503-2124 岐阜県不破郡垂井町宮代1794-1

TEL:0584-23-3010 E-mail: info@sento-tarui.org

URL: <http://sento-tarui.blogspot.com/>

わたしたちが していること できること



FTの普及啓発イベント

垂井町や揖斐川流域で世界とのつながりを感じながら地域づくり活動を日々実践。フェアトレード(以下FT)や地産地消の推進などで流域内循環型社会を構築し、持続可能な地域をめざしています。

- ・FTや地産地消の普及・啓発
- ・地域資源を活かした生業づくりをできる人を育てる講座の実施
- ・政策提言に関する人材育成や調査・研究
- ・情報発信やESDの拠点支援など、揖斐川流域をつなぐ事業
- ・企業、大学などの研修受け入れ

BEFORE

企業

- ・FTやエシカルの視点を企業内で取り入れたい、取り組みたい。
- ・地域とつながり持続可能な取り組みを知りたい。
- ・SDGsや持続可能な地域に関する研修を行いたい。

NGO

- ・FTの産品を企業内で活用して欲しい。企業の製品やサービスのFT化、エシカル化推進のお手伝いをしたい。
- ・揖斐川流域内の活動や人を広く知ってほしい。

AFTER

企業

- ・FTの産品を企業活動で活用できるようになる。企業の製品やサービスのFT化、エシカル化が推進され、SDGsへの貢献がより進展する。
- ・現場を体感することで社員の意識が向上する。

NGO

- ・FT化、エシカル化を企業が本業に取り入れることで、FTを大きく広げることができる。
- ・流域の情報を多くの人に伝えることができる。

アピールポイント

流域には持続可能な社会へのヒントがあります! それらはフェアトレードやエシカルの視点にもつながります。



特定非営利活動法人 DIFAR

〒515-3421 三重県津市美杉町八知1383
TEL:059-212-0154 E-mail: info@difar.jp
URL: http://difar.jp

わたしたちが していること できること



町の市場で分別回収した有機ごみを町の堆肥場に運ぶ

南米ポリビアで農村地域の人々のニーズをもとに、「今日の家族の安心・明日の家族の希望」が抱ける持続可能な社会をめざして、プロジェクトを実施しています。

- ・市町村に働きかけ、ごみのリサイクルシステム導入推進
- ・ごみの分別回収と生ごみ堆肥づくりの普及
- ・生ごみ堆肥を活用した有機農業の推進
- ・環境教育の普及
- ・ごみリサイクルに関する様々なイベントの企画・実施
- ・農村部でし尿をたい肥に変えるエコサントイレの建設

BEFORE

企業

- ・持続可能な社会の実現のために力になれることを探したい。
- ・環境問題解決のために何かしたい。
- ・南米と関わりを持ちたい。

NGO

- ・ポリビアでの活動を支援して下さるサポーターを増やしたい。
- ・日本の技術やノウハウを活かしてもっと多様なポリビア社会のニーズに貢献したい。

AFTER

企業

- ・ポリビアの持続可能な社会の実現のためにサポーターとして貢献できる。
- ・環境問題の解決に貢献できる。
- ・DIFARのネットワークを活かしてポリビアと繋がる。

NGO

- ・ポリビアでの支援が今後も継続して実施される。
- ・他セクターと連携することで支援の幅が広がり、更なるニーズに対応できる。

アピールポイント

2003年から継続して南米ポリビアで持続可能な社会の実現をめざして活動しています。



認定NPO法人 まちづくりスポット

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8 フレスポ飛騨高山市内
TEL:0577-62-8550 E-mail: info@machispo.org
URL: http://www.machispo.org/

わたしたちが していること できること



高山市の老舗スーパー新店舗でこだわり農家のマルシェ交流会を開催

地域づくり、まちづくり活動を支援する中間支援組織です。交流センターの運営を通じて、NPO・企業や行政など異なる枠組みに属する人や組織のマッチングやコーディネートを行い、新しい地域活動の一步を応援します。

- ・まちスポ交流施設立ち上げの支援。富山市地域包括ケアセンターまちなかサロンの立ち上げ支援とネットワーク作り
- ・ひだインターン留学・ワーキングホリデーin飛騨高山・こだわり野菜マルシェ
- ・介護のためのホッとする談話室運営・移住促進推進のための施設運営

BEFORE

企業

- ・社会貢献活動としてNGO,NPO活動に関心がある。
- ・社員の視野を広げたい。
- ・地域にどんな活動があるか知りたい。

NGO

- ・地域の課題解決の取り組み活動の理解者、参加者を増やしたい。
- ・SDGsを企業と共に学び、課題解決のための行動につなげたい。

AFTER

企業

- ・地域課題のニーズを得ることができる。
- ・新しい価値の創造に触れられる。

NGO

- ・課題解決のパートナーを得られる。
- ・協賛、企業研修委託や事業委託で、事業継続の推進力が向上する。

アピールポイント

大企業との協働事業経験があるため企業論理を理解。
第7回まちづくり法人国土交通大臣賞審査委員長賞を受賞。



認定NPO法人 レスキューストックヤード

461-0001 愛知県名古屋市中区泉1-13-34 名建協2F
TEL:052-253-7550 E-mail: info@rsy-nagoya.com
URL: http://www.rsy-nagoya.com/

わたしたちが していること できること



被災地にいち早く、被災者により長く寄り添う

人もモノもカネも「救援=レスキュー」のために「蓄える=ストック」「場所=ヤード」が必要だという「レスキューストックヤード構想」を基本理念として活動しています。

私たちの5つのこだわり

- ・寄り添う～災害時の被災者支援～
- ・日常から学びあう～地域防災～
- ・最後のひとりにこだわる～災害時要配慮者支援～
- ・ひろげる～ネットワークづくり～
- ・つなぐ～被災地から被災地へ～

BEFORE

企業

- ・社員をボランティアとして派遣したいときにどうすればいいの？
- ・災害が起こったときに自社の商品を提供したいが、具体的にどうしたらいいのかわからない。
- ・地域貢献したい。

NGO

- ・災害時に多くのボランティアを集めたい。
- ・災害時支援物資を効率的に集めたい。
- ・防災を伝えるさまざまな場がほしい。

AFTER

企業

- ・災害時におけるボランティア派遣のノウハウが理解できた。
- ・自社の商品で被災地の支援ができ、社員のモチベーションがあがった。
- ・会社の施設で防災イベントを行い地域の人と交流できた。

NGO

- ・企業とつながることで、より強固なネットワークが生まれる。
- ・必要なところに必要な物資を届けることができる。
- ・子どもたちが参加することで親の関心を引き寄せられた。

アピールポイント

過去の災害から学んだ教訓を活かし、災害に強いまちづくりのお手伝いをしています。



認定NPO法人 ムラのミライ

〒662-0856 兵庫県西宮市城ヶ堀町2-22 早川総合ビル3F
TEL:0798-31-7940 E-mail: info@muranomirai.org
URL: http://muranomirai.org/

わたしたちが していること できること



わたしの暮らしとSDGsをつなげる

- ・自分の暮らしや仕事を起点としてSDGsを考える講座を開催しています。
- ・セネガルの農村から日本の家庭まで、SDGs達成につながる暮らしづくりプロジェクトに取り組んでいます。

BEFORE

企業

- ・SDGsを自社・自分に引き付けて考えようとするが、抽象的な議論となってしまう、何からどう手を付けていいのかわからない。

NGO

- ・様々な立場の組織とSDGsを共通言語にして協働したいが、なかなかパートナーが見つからない。

AFTER

企業

- ・自社・自分の仕事とSDGsをしっかりと関連付け、より具体的な企業活動や達成目標に落とし込むことができる。

NGO

- ・SDGsを共通言語として具体的に協働できるパートナーが見つかる。

アピールポイント

社内研修や活動の立ち上げ・企画段階からお気軽にご相談ください。



特定非営利活動法人 イカオ・アコ

〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1-44-17 嶋田ビル302
TEL:080-1627-9189 E-mail: goto@n-fukushi.ac.jp
URL: http://ikawako.com

わたしたちが していること できること



マングローブ祭りに参加した日本人と現地の住民

フィリピンで植林と他事業と組み合わせ、地域おこしのきっかけになる活動を行っています。

- ・臨海部でマングローブ植林とエコツーリズムによる生計向上の支援
- ・山間部で植林と有機農業、特産品栽培による住民の能力開発の支援
- ・山間部で水道の無い学校に簡易水道の建設支援
- ・ボランティア、インターン希望者にベッドと食事を提供する研修センターを設置
- ・オーガニックカフェMIDORIを開設し、有機農産物を加工して提供

BEFORE

企業

- ・環境保全に貢献したい。
- ・地球規模の環境問題に社員の関心を高め、環境意識を醸成したい。
- ・環境問題のテーマで講師を派遣してほしい。

NGO

- ・企業と一緒に地球環境を守りたい。
- ・イカオ・アコのイベントを研修の一部として活用してほしい。

AFTER

企業

- ・環境問題の解決に貢献できる。
- ・マングローブの植林が環境意識を向上させ、国内の業務に反映される。

NGO

- ・植林など各プロジェクトが持続可能となる。
- ・多様な交流が形成され、緑を守る意識が高まる。

アピールポイント

1997年、マングローブ植林から始まった環境保全活動により、植林本数は150万本に到達。



認定NPO法人 名古屋NGOセンター

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F
TEL:052-228-8109 E-mail: info@nangoc.org
URL: http://www.nangoc.org

わたしたちが していること できること



NGOスタッフになりたい人のための研修

貧困・紛争・環境破壊などの地球規模の課題を解決するために、市民が主体となって取り組む活動を支援しています。支援を通して、人権、平和、環境が守られる社会の創造をめざしています。

活動の7つの柱

- ・ネットワーキング
- ・政策提言
- ・コンサルティング
- ・国際理解・開発教育
- ・情報収集・発信
- ・人材・活動育成
- ・調査・研究

BEFORE

企業

- ・自社が取り組むSDGsのゴールと重なる活動をしている複数のNGOと連携したい。
- ・自社の名前が冠に付いた助成金を立ち上げ、社会課題の解決に貢献したい。
- ・SDGsやNGOに関する情報がほしい。

NGO

- ・NGOを支援するスキームを増やしたい。
- ・多様な企業とのネットワークを構築したい。

AFTER

企業

- ・1つのNGOだけでなく複数のNGOとの連携をコーディネートしてもらえる。
- ・NGOを対象とした助成金を開始することで複数のNGOを支援することができ、企業価値が向上する。
- ・講師を派遣してもらい、社員教育ができる。

NGO

- ・NGOの活動が活性化する。
- ・企業との顔の見えるネットワークが構築できる。

アピールポイント

多様な情報とネットワーク力でNGOとの連携をコーディネートします。



特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海

〒453-0041 愛知県名古屋市中村区本陣通5-6-1 地域資源長屋なかむら内
TEL:070-4114-6268 E-mail: mrc-t@nifty.com
URL: <http://mrc-t.blogspot.jp>

わたしたちが していること できること



マルチステークホルダーによる意見交換会

東海地域を中心とした、多文化共生分野の中間支援組織です。産官学民の連携を促し、だれもが自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりに取り組んでいます。

- ・多文化共生に向けて様々な課題解決に取り組む専門家・団体をご紹介します。
- ・移民の受入れに関する国内外の好事例等、各種情報提供やご相談に応じます。
- ・東海地域の多文化共生社会づくりに向けた調査研究や政策提言にご協力します。

BEFORE

企業

- ・移民の受入れに関する現状や課題を知ったうえで、自分たちに何ができるかを考えたい。

NGO

- ・海外での国際協力にばかりに目を向けがちな日本企業に、外国人が急増している国内での多文化共生社会づくりに参画してもらいたい。

AFTER

企業

- ・多文化共生社会づくりに向けて、自社の理念と事業内容に沿った活動を地域のステークホルダーと一緒に企画・実施できるようになった。

NGO

- ・企業が足元のグローバル化に目を向けることで、地域のNPO活動に参加するビジネスパーソンが増え、会社で培ったノウハウを発揮し課題解決力が向上した。

アピールポイント

「外国人・移民」に関するご質問・ご相談があれば、お気軽にお問い合わせください。



特定非営利活動法人 地域の未来・志援センター

〒461-0002 愛知県名古屋市中村区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5F
中部リサイクル運動市民の会内 TEL:052-936-3213 E-mail: office@c-mirai.org
URL: <http://www.c-mirai.org/>

わたしたちが していること できること



渥美海岸清掃の様子。ゴミから学ぶ地域課題

環境活動及び主に里山・里海の地域づくり活動を支援する中間支援組織です。
（「交流の場づくり」「地域の担い手づくり（人材育成）」「コーディネート」）

- ・愛知・岐阜・三重3県連携、西濃地域、渥美半島のクリーンアップ活動サポート
- ・環境問題・地域づくりに取り組む人・組織対象の情報交流会
- ・人材育成
『豊森なりわい塾』『里山インキュベーターいびがわ入門講座』『3県連携・海岸清掃から始まる人材育成のしくみづくり』

BEFORE

企業

- ・社会貢献活動として環境問題に関心がある。
- ・社員の視野を広げたい。
- ・地域にどんな活動があるか知りたい。

NGO

- ・地域の環境活動の理解者、参加者を増やしたい。
- ・SDGsを企業と共に学び、何らかの行動につなげたい。

AFTER

企業

- ・地域の環境団体とつながることができる。
- ・一般的な環境問題でなく地域課題を知ることができる。
- ・地域課題から新たなニーズをとらえ、従来と異なる視点で業務に取り組む社員が増える。

NGO

- ・課題や活動への関心層を広げられる。
- ・パートナーを得て、活動の推進力が増す。
- ・企業に学び、マネジメント等の進んだ知識を取り入れられる。

アピールポイント

持続可能な社会をめざすための、全国でも珍しい3県（広域）連携推進中間支援組織です。

■ もっと情報が欲しい方へ

NGOと企業の連携やSDGsについてもっと知りたい方は、以下の情報へぜひアクセスしてください。

中部地域のNGOと企業の連携促進のための情報サイト

NGOと企業の連携促進プラットフォーム

<http://nangoc.org/plt/>

NGOと企業の連携事例の紹介、勉強会・シンポジウムの案内、報告書の掲載など、様々な情報を提供しています。



<主な掲載内容>

1. 連携事例の紹介

中部地域における企業とNGOの実際の連携事例を紹介しています。本冊子に掲載されていない事例もありますので、ぜひご覧ください。

2. 勉強会・シンポジウムの報告書

企業とNGOの連携促進のためのシンポジウムと勉強会を定期的に開催しています。これまでに開催したシンポジウムと勉強会の報告書をダウンロードすることができます。

3. 「NGOとの連携に関する相談窓口」のご案内

名古屋NGOセンターのネットワークを生かして、個別相談に対応致します。初回のご相談は1時間程度、無料で受け付けています。

NGOと企業との連携のポイントなどがまとまっている必見の資料

NGOと企業との連携推進ハンドブック

新しいパートナーシップによる対話と協働に向けて

60ページ/PDF/外務省/2009年

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/pdfs/kr_handbook.pdf

企業ができるきっかけづくり⇔NGOができるきっかけづくり、企業が連携したいNGOの条件⇔NGOが連携したい企業の条件のように、シチュエーションごとの企業とNGOの考え方の違いがわかるようになっています。

地球規模の課題解決に向けた企業とNGOの連携ガイドラインver5

28ページ/PDF/NGOと企業の連携推進ネットワーク/2017年

http://www.janic.org/ngo_network/PartnershipGuideline.ver5.pdf

「企業とNGOの覚書サンプル」「質の高い連携チェックリスト」などすぐ使える様式もあり便利です。

SDGsを理解し、行動するために参考となる資料

基本解説 そうだったのか。SDGs

—我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダから、日本の実施指針まで—

110ページ/1,000円+税/編集・発行 一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク

NGO/NPOの専門家による17のゴールの解説、政府が作成した実施指針に対する市民社会の見解をまとめたレポートなど、SDGsをめぐる最新情報が入っています。

SDG Compass 日本語版SDGsの企業行動指針 —SDGsを企業はどう活用するか—

30ページ/PDF/一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

https://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG_Compass_Japanese.pdf

SDGsに関する情報を発信している団体のwebサイト

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク

<http://www.sdg-japan.net/>

認定NPO法人国際協力NGOセンター (JANIC) SDGsページ

<https://www.janic.org/world/>

一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

<http://www.ungcn.org/pretest/index.html>

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン SDGsページ

<http://www.savechildren.or.jp/lp/sdgs/>

愛知海運株式会社



『人と社会に貢献する』という社内スローガンから、自前主義に捉われず、オープンイノベーションの観点でSDG'sの課題解決を目指しています。

地域内の諸問題から国際的な課題解決まで、と一緒に活動を検討頂ける団体様がいらっしゃいましたらお声かけ下さい。



タイ現地法人 第2倉庫竣工（平成30年4月）

住所：名古屋市港区名港2-9-31
電話：052-651-3212（事業戦略室 鈴木）
URL：www.aikai.co.jp



中部電力グループ

CHUDEN KOGYO co.,Ltd. AD SERVICE

チラシやイベント、コマーシャルなど
『広告』に関するご要望にお応えいたします。

中電興業株式会社 アド・サービス部
<https://chudenkogyo-ad.jp/>
TEL:(052)223-0339

～行動することで真実を知り本物をお届けする～

ウガンダ無農薬・無施肥コーヒー × くだる農園
Crystal Farm



株式会社クリスタル mail:natural@katsuhara.jp
〒454-0931 愛知県名古屋市中川区中花町103番地
TEL052-354-8282 FAX 052-354-5643

TO BE HAPPY.



私たちの経営理念は「幸せになるために」です。
私たちは昭和4年(1929年)よりジャッキを造り続けて来年で90年を迎えます。
そんな私たちが、災害時に挟まれた人を助けるのに今まで培ってきたジャッキが
役立つとのことで、新商品「STO レスキュージャッキ」
を開発しました。
詳しくは、「STO レスキュージャッキ」で検索ください。

竹内工業株式会社

名古屋市中央区清川町 1-1 TEL 052-361-1111

URL：http://www.sto-takeuchi.co.jp/



開発途上国への進出や人材育成をお考えの企業の方々へ
企業の「海外への思い」をサポートします。



2015年のSDGs採択を機に、環境・社会・経済の三側面を統合した持続可能な事業性が求められる潮流が一層強まり、SDGsが、ビジネス創造の機会であるとともに、新たな規制が制定されるリスク要因ともなっています。こうした中、SDGsに対する理解を深め、SDGsを事業に積極的に組み込んでいく企業が増えています。

JICAは長年の政府開発援助(ODA)の実施で得た強み(途上国政府とのネットワークや信頼関係、途上国事業のノウハウ)を最大限に活かし、企業の海外展開を通じた途上国の課題解決を支援しています。開発途上国への進出や人材育成をお考えの愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の企業の皆様、JICA中部へお気軽にお問合せください。

現地で基礎的な情報を収集したい

基礎調査

中小企業支援型	対象者	中小企業、中小企業団体の一部の組合
	調査経費	1件850万円(遠隔地域を対象とする場合は980万円)を上限

ビジネスモデルを策定したい

案件化調査

中小企業支援型	対象者	中小企業・中堅企業、および中小企業団体の一部の組合
	調査経費	1件あたり3,000万円(機材の輸送が必要な場合は、5,000万円)を上限
SDGsビジネス支援型	対象者	「中小企業支援型」の対象者に該当しない本邦登記法人
	調査経費	一件あたり850万円を上限

ビジネス活動計画を実証・策定したい

普及・実証・ビジネス化事業

中小企業支援型	対象者	中小企業・中堅企業、中小企業団体の一部の組合
	調査経費	1件あたり1億円(大規模/高度な製品等を実証する場合は、1.5億円)を上限
SDGsビジネス支援型	対象者	「中小企業支援型」の対象者に該当しない本邦登記法人
	調査経費	一件あたり5,000万円を上限



訪問プログラム

無料/要予約 SDGsの理解促進のために

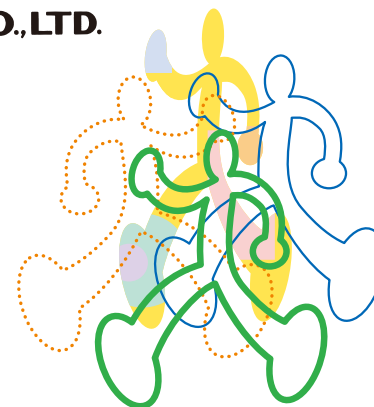
JICA中部が運営する体験型施設「なごや地球ひろば」では、SDGsをテーマに展示やイベント・セミナーを開催しています。訪問プログラム(無料/要予約)は、SDGsの概要と世界の課題、JICAの取組みと支援制度等についてご案内します。社内でのSDGs浸透や、若手社員の研修にぜひご活用ください。



JICA中部

検索

OKAYA & CO., LTD.



グローバル最適調達パートナー
岡谷鋼機株式会社
本社/名古屋市中区栄2-4-18 〒460-8666
<http://www.okaya.co.jp/>

ご家庭で ショップで 事業所で

アクアマジックで始める、
安心・安全 しかも おトクな

Water Life!

株式会社 中京医薬品
アクアマジック事業部

0120-66-8132
<http://www.aqua-magic.net/>



中部地域のNGOと企業の連携促進のための冊子
『はじめよう、連携 ～SDGsから見たパートナー選び～』

発行・編集: 認定NPO法人 名古屋NGOセンター

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F

Tel:052-228-8109 E-mail:info@nangoc.org URL:<http://www.nangoc.org>

編集委員: 貝谷京子、加藤美紅、近藤愛里、桜井裕子、高橋美穂、高橋里加子、戸村京子、
内藤裕子、丹羽輝明、久田夏未、村山佳江

発行日: 2019年1月

デザイン: 久由紀枝

印刷・製本: 山本印刷株式会社

※この冊子は(一財)日本国際協力システムより助成を受けて発行しました。

C-Tech

中部電力グループ

つないでいきたい。明日へ

事業内容 ● 技術コンサルタント・施工・保守 [電気、情報通信、土木建築、環境保全]

● 再生可能エネルギー発電事業 ● 地域熱供給事業

| 本店 | 名古屋市瑞穂区洲雲町4-45

| TEL | 052(852)6911(代) <http://www.ctechcorp.co.jp>

ISO9001・ISO14001・ISO27001取得

株式会社 シーテック



パロマ瑞穂スポーツパークは、
ガス機器のパロマが名古屋市の
ネーミングライツパートナーとして応援しています。

ガスの温もりを、かたちに。

Paloma

株式会社パロマ 名古屋市瑞穂区桃園町6-23 TEL:052-824-5111(代表)

リコウな未来、理工の技術で。



住友理工

私たちは2014年10月より「東海ゴム工業株式会社」から「住友理工株式会社」へ社名変更いたしました。